

まず行動する



共に考え行動する



力をまとめる



**確かめ合う**

### 1 【 成果や課題の共有 】

学年が組織として機能してほしい。

学年としての指導方針・指導方法に沿って学年職員一人一人が実践し、その成果や課題を共有している。

学年職員一人一人が学年経営に参画する意識をもってほしい。

学年職員に案を出してもらい、効果的な部分を取り入れながら計画を作成するとともに、学年の方針として共通認識し実践している。

学年職員がお互いを支え合う気持ちをもってほしい。

全学年職員がかかわるといふ共通認識をもち、中心で進めている職員をサポートする役割を意識した仕事分担をしている。

学年としての取組で、上手くいかない時は個人に責任を負わせず、成果が出た時はみんなの力としてとらえるようにしている。

### 2 【 学年職員の長所や存在の認め合い 】

職員が生き生きと仕事をしてほしい。

自分には合わなくても、職員がよいと思って取り組んでいることを認めている。

職員の長所を組織に貢献させてほしい。

職員の長所や得意分野を考慮しながら、仕事を頼んでいる。

学校や学年の大事な職員であることを伝えたい。

特に赴任したばかりの職員に対して、何気ない会話や気遣う言葉を掛けている。

職員の長所や存在を認めている。